

**軽量版** ふるさとで全力を尽くす野球を観に行こう!!  
地方の野球元気が日本の元気にもなる!!  
未曾有の事態だからこそ、身近で頑張る独立リーグにスポットを当てませんか?

**DOJIN  
全年齢**  
全年齢対象

どなたでも  
購入・閲覧できます



# BCリーグ応援し隊

BASEBALL CHALLENGE LEAGUE

12県に跨がるルートインBCリーグの  
ファンが色々とだべる同人誌!!

独立  
リーグ  
合同誌

2021増刊号



# 目次

各チーム紹介	アツアギ	4
2021年特別ルール	ハチマキくろだ	6
BCリーグ以外の野球独立リーグ	ハチマキくろだ	7
各チームのマスコットを一発描きしてみた!	ほめるん	8
ある家族から見たBCリーグ～その後～	和田まいこ	14
BCリーグで今まで訪問した球場 ～BCリーグファン歴5年間の行脚記録と個人的8大球場～	デービンソン・スレギ	18
BCリーグがちょっとした同窓会になった件について。	王チ	28
地元愛=信濃グランセローズ	こばびっと	30
カメラとBCリーグと私	浅村悠希	35
娘とルートインBCリーグ(続編)	amos mil	40
『革命』を目指す球団と、それに対する個人的なとりとめもない彷徨	井端茶漉	48
Revival League ～新しい独立リーグについてのことなど	錦谷 了	60
福岡県に独立リーグがあった頃。	ハチマキくろだ	72
奥付		78



## ルートインBCリーグ各チーム紹介

ルートインBCリーグでは、加盟球団の地区を東西に分けてリーグ戦を行っていました。新型コロナ対策で本拠地間の移動をなるべく少なくするため、2020年度は東・中・西の3地区制、かつ地区内を2分割したリーグで開催を実施しました。2021年度は3地区制のみ継続、地区内分割は廃止して絶賛開催中です！！

そんな12球団をBCリーグのファン目線で簡単に紹介します！（いつも通りの内容なので、既刊をお持ちの方は読み飛ばしをお願いします。）

### 【栃木】栃木ゴールデンブレーブス

親会社エイジエック様の豊富な資金力と営業力により多数のスポンサーとファンを獲得。村田修一や西岡剛などのビッグネームも獲得し、集客人数もBCリーグでダントツのトップ。



### 【群馬】群馬ダイヤモンドペガサス

現横浜DeNAベイスターズ監督のラミレスが選手として所属していた球団。当たり前のように20得点する。超強力打線で他球団をいちめる。優勝回数も最多！ #ぐんまちゃん被害者の会のハッシュで有名。

### 【福島】福島レッドホープス

実質、元メジャーリーガー岩村明憲社長兼監督のポケットマニー球団。そこそこ強かったのになかなかNPBへ選手を送り込めなかった。最近は苦戦しているが復権なるか。

### 【茨城】茨城アストロプラネット

2019年新加盟。なかなか戦力が整わず、初年度には21連敗、2020年には23連敗を記録してしまった……。県域が広くご褒美球場が多い。

### 【埼玉】埼玉武蔵ヒートベアーズ

くまちゃんず。応援団がガチ。マスクott：エンビーの背中芸が見所。2019までは最も都心に近い球団で、メディアへの露出も多いが、資金不足で戦力不足気味…。

### 【神奈川】神奈川フューチャードリームス

2020シーズンから加盟の新球団。新球団ながら資金力と地元枠を活かした分配ドラフトなどで早くも優勝できそうな戦力を揃え、そして本当に優勝してしまう。フドちゃんの快進撃は続くのか。

## 【富山】富山GRNサンダーバーズ

GRNは北陸コカコーラの子会社でGLOBAL REFRESHMENT NETWORKの略。リアル野球盤レギュラーの吉岡雄二が4年間監督を務めてたり、NPBの名選手がけっこういる。

2年連続で1イニング10失点した投手を育ててNPBに送り込むなど育成・輩出能力も高い。

## 【新潟】新潟アルビレックスBC

元々BCリーグは新潟球団を作るためのものだった。一番の本家本元、ファンも多い。2020からヤクルトの監督になる高津臣吾はここでも監督やってた。

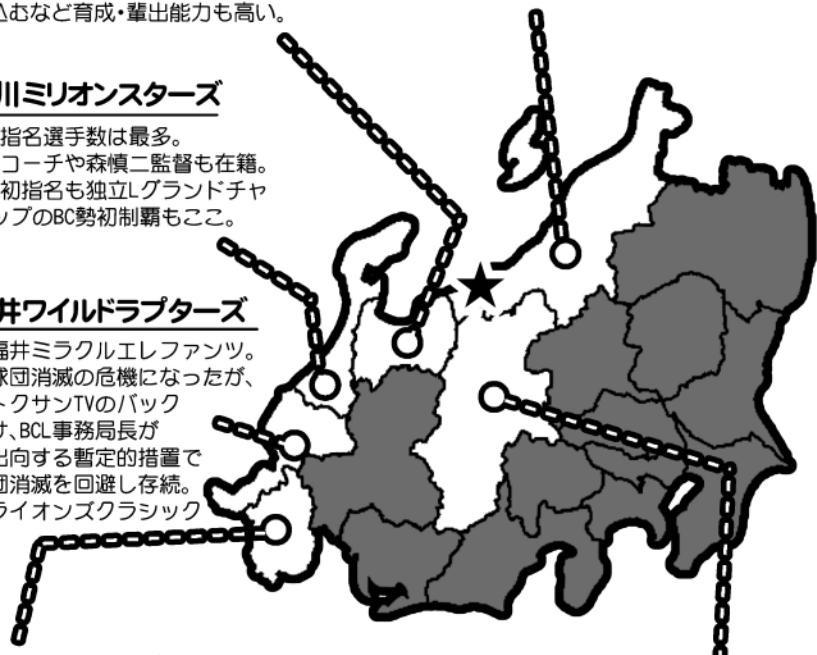
## 【石川】石川ミリオンスターズ

NPBドラフト指名選手数は最多。

かつてはTDNコーチや森慎二監督も在籍。NPBドラフト初指名も独立リーグランドチャンピオンシップのBC勢初制覇もここ。

## 【福井】福井ワイルドラプターズ

2019年まで福井ミラクルエレファンツ。今年オフに球団消滅の危機になったが、youtuberのトクサンTVのバックアップを受け、BCL事務局長が球団社長に出向する暫定的措置でなんとか球団消滅を回避し存続。応援は西武ライオンズクラシック



## 【滋賀】オセアン滋賀ブラックス

オセアン滋賀ユナイテッドBCから改名。

琵琶湖の水止めたろか？

応援団がガチで名曲揃い。

やも広報(応援団員)にユナイテッドされる。

京都でも公式戦やるので京都は滋賀。

しかし勝てない。だじょ～

## 【長野】信濃グランセローズ

グラン(壮大な)-セローズ(カモシカ)  
バラドリかわいいよ/バラドリ。

リーグ設立初期から加盟し、戦力もちゃんとしていたが、初優勝は意外にも11年目の2017。

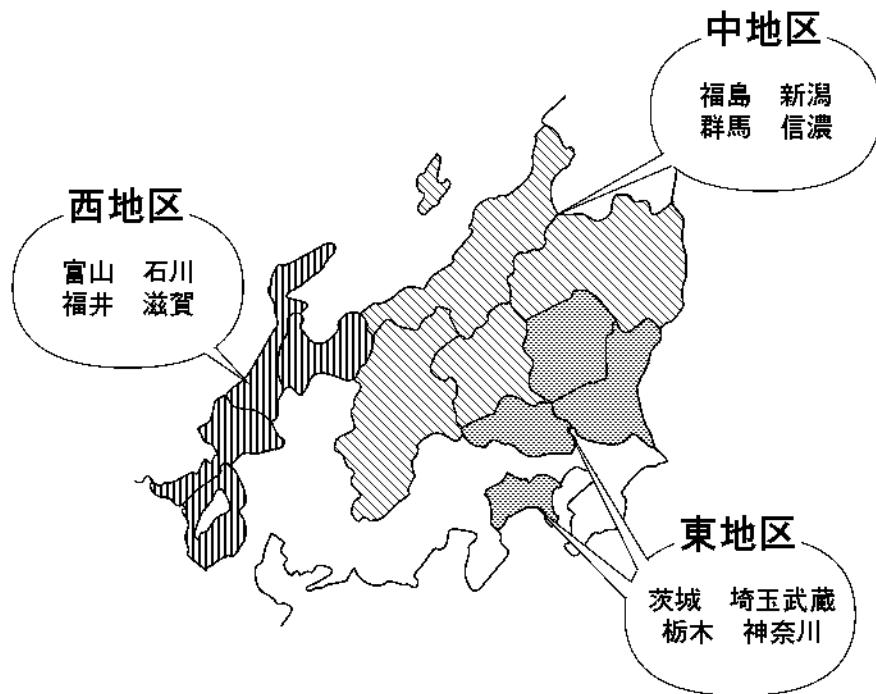
## ★BCLの原点一 新潟県:糸魚川市

協力者がなくBCリーグ発足が危ぶまれていた頃、この地に住んでいた野球少年・樹人君が、少年野球の試合前に急性心不全を患いこの世を去りました。享年9歳……。たった9年しか生きられなかつた彼の母親から「新潟のプロ野球団を応援したいと言っていた。息子の願いを叶えて欲しい」という手紙を受け、奮起したリーグ代表が困難をねぬけBCLを立ち上げました。

その経緯からBCLでは、AED普及活動(MIKITO AED PROJECT)を推進しています。そして、樹人君の背番号10は、全チーム共通の永久欠番です。



# 2021年 3地区制システム

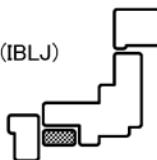


- ・東地区、中地区、西地区でそれぞれリーグ戦を実施  
(2020年のような地区内のグループ分けはありません)
- ・3地区の優勝チームと、各地区2位のうち最高勝率チーム  
(ワイルドカード)がプレーオフ準決勝ラウンドに進出
- ・プレーオフの準決勝は3試合制、決勝は5試合制

# BCリーグ以外の野球独立リーグ

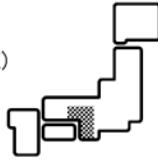
文責：ハチマキくろだ

## 四国アイランドリーグ plus (IBLJ)



2005年から興行している  
現存野球独立リーグ最古参。  
NPBにもわりとコンスタントに  
選手を輩出しています。  
四国四県にチームが各1つ。  
一時期九州に進出したことがあります。

## 関西独立リーグ (KANDOK)



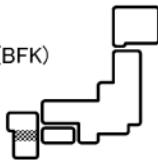
関西に拠点を持つ独立リーグ。  
一時期バタバタして球団の入れ替えが  
激しかった運営でしたが、最近は  
さわかみ財団のバックアップで安定。  
フランチャイズを府県で区切っていません。

## 北海道ベースボールリーグ (HBL)



2020年から興行を始めた  
道内プロ野球リーグ。  
1年目は美唄と富良野で  
チーム間バランスが悪かったですが、  
2021年からの士別と石狩の参加で  
どうなりますか。

## 九州独立プロ野球リーグ (BFK)



2021年から独立リーグ市場に参加する  
新興リーグ。  
熊本球団と大分球団で構成されます。  
四国やソフトバンク三軍と交流戦したり、  
北海道遠征を企てたり、積極的に動いて  
います。

## 日本女子プロ野球リーグ (JWBL)

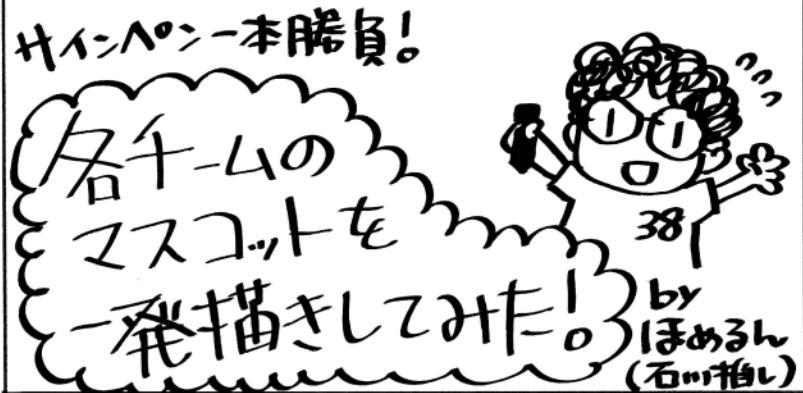


女子プロ野球もNPBとは別組織なので  
独立リーグです。日本の独立リーグで  
唯一の性別制限があるリーグ(BC等に  
女子選手が在籍したことはあります)。  
2020年オフに選手がかなり抜けて、  
2021年は興行に苦労しています。

## 琉球ブルーオーシャンズ



沖縄にできたNPBを目指すチーム。  
とはいってもルートが決まってるわけではないので独立リーグの一種？  
COVID-19の関係で遠出ができない  
せいか、2020年はよく社会人の沖縄電力と  
試合してました。



### ルール

- 下書きなしの一発勝負。
- 使うのはツインマークー1本。
- 描き上げるまでの時間をはかる。
- チーム順は21年の名鑑の並び
- ※細かい描写は何卒ご了承下さい
- ※朽木ファンの方すみません?

**例**  
村山代表

- 描き上げタイム: 1分54秒
- 描く時のホベント: まゆもの上げ
- 描いた感想など: 細めに見合  
描きすぎたかも…



# ある家族から見たBCリーグ～その後～

和田まいこ

2020年11月23日発行『BCリーグ応援し隊2021』に寄稿させて  
いただいた拙稿「ある家族から見たBCリーグ」の後日譚です。  
併せてお読みいただけますと幸いです。

◇

読売巨人軍の育成指名。

阿部慎之助二軍監督が両手でサムズアップポーズをカメラに向ける。  
これから読み上げられる選手が最後の指名選手だろうと察した。

私はパソコンのモニター前で文字通り祈った。

彼の名前が最後まで呼ばれることなく、2020年のNPBドラフト会議  
は終わった。

彼はBCリーグを引退した。

# BCリーグで 今まで訪問した球場

～BCリーグファン歴5年間の行脚記録と個人的8大球場～

デービンソン・スレギ

## 近況報告

ご無沙汰しております。第一号以来の執筆と。無沙汰しております。第一号以来の執筆となりましたデービンソン・スレギです。2020年は新型コロナの影響もあり、各国各リーグで開幕が延期され、開幕されてもなお無観客という状況が一部で続いておりましたが、それでも新生・福井ワイルドラバーズや関西独立リーグ・堺シュライクスの試合を中心に現地に赴きました。そして2021年、私は転勤で五年間過ごした福井に程近い舞鶴を離れ、神奈川県へ引っ越しして東地区のどれかに最員を構えようと考えた結果、やっぱ神奈川だからフューチャードリームスにするか考えましたが、一部界隈の熱意に押されて埼玉武蔵ヒートベアーズを応援しようと現在球場に通っています。

## 緒言　今まで訪問した球場まとめ

(主催球団別)

福井：福井県営、フェニスタ、丹南、三国、敦賀、美浜、おおい

滋賀：彦根、守山、甲賀、西京極

富山：高岡西部

新潟：五十公野

福島：ほばら

栃木：小山、栃木県営

群馬：伊勢崎

埼玉：熊谷、飯能

神奈川：中井

2017年四月の美浜を皮切りにBCリーグの試合としては五年間に計20場訪問しました。ページの都合上すべてを紹介することはできませんが、今回はその中でも思い出深い球場を紹介いたします。

BCリーグがちょっとした同窓会になった件について。

モチ

ごきげんよう。

皆様、野球を楽しんでますか？

今回も個人的な思い出話といいますか、忘備録的なものを綴っていこうと思います。

SNSでもたまに書いている話ですがゆるりとお付き合い下されば幸いです。  
わたしの出身校や年齢がバレバレになる可能性しかありませんが気にせずレッツゴー！！

（※念のため登場人物の個人名は伏せておきます）

独立リーグに限らず、野球の試合前に始球式を敢行する事があります。

始球式を行うのは著名人だったりスポンサー企業の関係者、地元の少年野球チームメンバーや抽選で選ばれた一般の方など多岐に渡ります。

音楽を生業としている方をお呼びしている場合は国歌独唱・演奏を行いますね。

あれは何年前だったでしょうか、某球場での出来事です。

試合前の国歌独唱を歌手が行うと知り「ふーん」といつも通り軽く受け流していましたのですが、国歌を歌う人の名前を聞き驚きました。

なんと、高校の同級生。

同級生といってもクラスが一緒になった事はあっても話した事はないし、強いて言えば友達の友達位の遠さ。もちろん音楽をやっている事は知っていましたし、なんならCDも持っています。

ライブに行きたいなあと思いつつも実現せずにはや幾年……まさか生歌が聞けるとは！しかも野球場で！！！ちょっと意味がわからないぞ！！！！

という訳で持ち歌ではありませんが久しぶりに彼の歌声を堪能致しました。

相変わらず伸びやかな心地よい声。本当に嬉しかったです。

# 地元愛=信濃グランセローズ

2021年初夏、こばびつと著

私は長野県の真ん中にある諏訪湖のほとり、岡谷市で生まれ育った信州人である。現在は地元を離れ東京在住だが、盆と正月の年2回ほど実家に帰省している。

信州人は野球好きが多く、NPB プロ野球が開催されるほどであるが決して野球のレベルが高いとは言えない。高校野球でも平成3年に松商学園がセンバツ甲子園で準優勝して以来、初戦突破がやっとのレベルである。

その長野県野球の頂点にいるのが、もう1つのプロ野球と言われる独立リーグのBCリーグに属する長野県民球団、信濃グランセローズ(以下、グランセローズという)である。グランセローズはBCリーグ設立時からの加盟チームで、今年15年目のシーズンを迎えた。

しかしリーグ開始後から長く結果が出ず、やっと念願の地区優勝を果たしたのが11年目の2017年シーズンの後期、やっとその勢いで初のリーグ優勝に駆け上がったという苦労球団である。またここ2年も地区優勝はしたもの、惜しくもリーグ優勝にはあと一步及ばず準優勝に甘んじている。



2021年4月10日、BCリーグ中地区開幕戦(長野県営球場)

# カメラとBCリーグと私

写真・文：浅村悠希

## ●はじめに

タイトルを見てカメラの知識とか専門的なお話を期待していた方は申し訳ありません！正直に言うと、専門的な話になると10ページ以上超えてしまいます！そんなダラダラした話、きっと需要がない…！

と、ということで、今回はBCリーグにカメラを持ち込んだらどんなことが起きたか、といった経験談のような内容です。あくまで「個人の感想」であることを念頭に置いてください。

## ●そもそもなぜカメラを始めたのか

きっかけは「絵を描く際の資料にするため」でした。昔はいろいろ描いておりまして、参考になればと。そんな軽い理由で始めたが、今では絵も描けなくなるくらい全能力をカメラに振ってしまい現在に至ります。

SNSにアップしているのは単なる自己満足で「ねえー！この選手めっちゃめんこい（可愛い）ねえー！」みたいなノリで載せていました。基本的に軽い気持ちでしたね、昔は特に。



現在の相棒

重すぎるので鈍器と呼んでます

## ●2017年、BCリーグ沼へ…

2017年シーズンの途中からBCリーグの試合を見始め、当時からカメラで試合の写真を撮っては自分のSNSにアップしておりました。石川ミリオンスターズ（以下、石川）のイヤーブックとにらめっこしながら、これはこの選手…とハッシュタグをつけて載せて…の繰り返し。

選手のSNSアカウントも見つけ次第こっそりとフォローするようになりました。まあ、石川はそもそも大々的にやっている選手が少なかったけど…。



# 娘とルートイン BC リーグ(続編)

amos mil

題名を見て「何故「娘」なの?」「(続編)とは?」と面喰った人もいるかと予想されるので、最初に説明させて頂きたい。

この独立リーグ合同誌はハチマキくろだ氏（サークル ハチマキ球団）が発起人となり 2019 年 12 月に第一弾が刊行され今回で第四弾となる。第一弾の作成メンバーは独立リーグファンの猛者ともいえる人々が計 17 名集結し情熱や敬愛が詰まった重厚な文章が数多く寄稿されたが…私も軽い気持ちで参加したもののメンバーを知ると観戦数・野球に関する様々な知識・文章力など、全てにおいてレベルが高い人などばかりで「私が何のテーマにしても絶対勝てないし二番煎じになるだけだ…」といきなり何を書けばよいのか分からなくなる状況に追い込まれた。そこでヤケクソ気味に「これなら誰もテーマにしないだろう！」で書いたのが「娘とルートイン BC リーグ」という奇抜な題名の文章。

内容は、私は BC リーグを長年観戦しているものの、私の娘（小学生）とは一度も連れて行ったことがない。独立リーグの試合を娘にも見せてあげたい気持ちがあるものの色々と心の迷いがあり躊躇っていた。そんな時に神から啓示を受けたかのような進言を独立リーグファンの方から頂き連れて行くことを決意。2019 年に観戦する日を決めたものの当日雨天中止…結果その年は連れて行けずに終わったが必ず一緒に観戦するぞ！と誓い、最後に娘が Twitter の世界で独立リーグ界隈の重鎮である「ぎっこさん」に就職先の斡旋をするというオチで終わるという内容自体が独立リーグはおろか球場やチーム・選手の空気感ゼロの私情満載なエッセイとなり、合同誌の中で一番浮いた存在となった…

# 『革命』を目指す球団と、それに対する個人的なとりとめもない彷徨

井端茶漬

## 1. はじめに

### 革命

1 被支配階級が時の支配階級を倒して政治権力を握り、政治・経済・社会体制を根本的に変革すること。フランス革命・ロシア革命など。

2 物事が急激に発展・変革すること。「産業革命」「流通革命」  
(後略)

『大辞泉』より

革命という語について辞書を引くと、上記のような説明で表されている。しかし、私は革命と聞くと真っ先に、トランプの大富豪(大貧民とも)という定番ゲームが思い浮かぶ。大富豪の同じ数字のカードを4枚いっぺんに出すと、カードの強さが逆転する役のことである。寧ろ、『革命』というスローガンには、この意味こそ相応しいとさえ思う。これから語ろうとする球団、茨城アストロプラネットには。

## 2. 2年連続勝率1割台

6勝27敗1分、6勝28敗2分、7勝49敗4分。勝率に直すと、.182,.176,.125。この数字は順に、BCリーグの公式戦で2019年前期、後期、2020年に茨城が残したチーム成績である。パワプロケンポケット11で神条紫杏が「どんなに弱いチームでも3割は勝つ」と言ったが、茨城はそうではなかった。ちなみに、他の勝率2割未満で調べても、滋賀の2018前期(参入年)と2020年(.152,.130)のみで、茨城の数字はある意味驚異的と言える。

BCリーグに詳しい諸兄にはくどいだろうが、あまり詳しくない読者のた

# Revival League

～新しい独立リーグについてのことなど

鈴谷 了

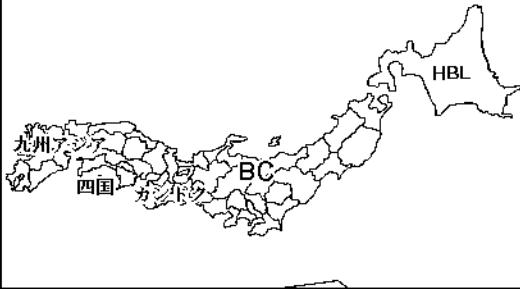
2020年から2021年にかけて、日本に二つの新たな独立リーグが誕生した。北海道の「北海道ベースボールリーグ」と九州の「九州アジアリーグ」である。実は、この両リーグが発足した地域にはそれ以前にも独立リーグの構想があった。それが約10年の時を経て異なる形で実現した、といえるかもしれません。そのあたりを昔のリーグ構想を振り返りながら書いてみる。

## ■九州

### 1.九州リーグ構想とその挫折

九州に独立リーグを作るという構想が最初に持ち上がったのは、2006年のこと。長崎県佐世保市職員から実業家に転じた地頭薦哲郎氏が、地域の人々のレクリエーション・交流とスポーツ振興の場として機能するアメリカの独立リーグに感銘を受けて、これを日本でも実現したいと思い立った。地頭薦氏はまず地元の佐世保にあったクラブチーム「佐世保ドリームスターズ」(元ブルーウェーブ選手の古賀豪紀氏を中心となって結成され、2000年に日本野球連盟に加入。特定企業の傘下ではなかった)を獲得した上で、プロチームに改組する。2006年12月にドリームスターズを解散させた上で改めて元選手も含めたトライアウトを実施し、2007年からは長崎セインツとして活動を開始する。この時点ではどこのリーグにも属さない無所属チームだった。「セインツ」の名称は、アメリカ独立リーグの優等生とも評されていたセントポール・セインツ(2021年からはミネソタ・ツインズ傘下マイナーに移行)から許諾を取って名付けたとされ、それ以外にもチームカラーに使う青色(黄色と併用)や、豚のマスコット(セントポールのマスコットの妹という設定)もセントポールにちなんだものが採用された。セントポール市は佐世保市の姉妹都市で、地頭薦氏はセントポールの日

野球の独立リーグは  
いま日本中に  
広がっていますが



その間には  
苦難の歴史が  
ありました



いちばん  
大変だったの  
関西かなあ

これは  
四国アイランドリーグが  
四国・九州アイランドリーグ  
だったころのお話



## 福岡県に 独立リーグが あった頃。

～福岡レッドワープラーズ～

ハチマキくろだ

## BCリーグ応援し隊 2021増刊号

編集責任 ハチマキくろだ(サークル ハチマキ球団)  
Email : bcleaguefun.dojin@gmasil.com  
twitter : BCLDojin

発行日 2021年6月6日

印刷 大陽出版株式会社



# ROUTE INN BCL Baseball Challenge League

## 西地区

- 富山GRNサンダーバーズ
- 石川ミリオンスターズ
- 福井ワイルドラプターズ
- オセアン滋賀ブラックス



## 中地区

- 福島レッドホープス
- 新潟アルビレックスBC
- 群馬ダイヤモンドペガサス
- 信濃グランセローズ

## 東地区

- 茨城アストロプラネット
- 栃木ゴールデンブレーブス
- 埼玉武藏ヒートベアーズ
- 神奈川フューチャードリームス

政府の要望で県を  
気軽にNPBを見に行ける。親族の事情で  
す皆様。一度身近にある野球一本感して  
ませんか。

BCリーグ愛好家たちが贈る同人誌第4弾。



### 【注意事項】

本書はルートインBCリーグの愛好家が集まり、独自に制作した同人誌です。  
BCリーグ公式運営は、本書の発行主体ではありません。内容に係わるお問い合わせは弊サークルまでお願いします。